

学校教育目標

基本的人権を尊重し、平和で差別のない民主的社会的実現をめざし、実践できる人間の育成を教育の柱とする。

- ①あらゆる差別や身の回りの問題を的確に捉え、解決のための実践力を備えた生徒の育成。
- ②互いのちがいを認め、立場を理解し、高め・支えあえる人間性豊かな生徒の育成。
- ③学力・体力の向上をめざし、自己実現に向けて自主的・意欲的な取り組みができる生徒の育成。
- ④規律を重んじ、集団の一員としての自覚と行動ができる生徒の育成。
- ⑤自らの生き方を考え、個性を生かし、進路を切り拓き、未来にチャレンジし続ける生徒の育成。

めざす高美中生像「高めあう生徒」

- ・地域や自分に誇りをもって、人の思いを理解し、仲間とともに高めあえる生徒
- ・自ら学び、思考を楽しみ、ねばり強く努力し続ける生徒
- ・ルールを守り、自分で正しく判断して行動できる生徒

校区でめざす子ども像

「た」互いに思いあえる子ども 「か」 考えて行動できる子ども 「み」 未来にチャレンジし続ける子ども

すべての教育活動は人権尊重の理念のもと行われている

Education on/about human rights
人権についての教育

Education as human rights
人権としての教育

Education for human rights
人権のための教育

Education in/through human rights
人権を通じた教育

人権学習の充実

- ・さまざまな人権課題について正しく知り、差別の現実深く学ぶ。
- ・明るい展望のある人権教育の推進

知

確かな学力の育成

- ・高美中学力スタンダードの推進
- <高美中学力スタンダード>
1. 授業規律の維持
 2. 「今日のめあて」と「ふりかえり」の充実
 3. 考えを書き、説明する場面の設定
 4. わかる授業・わかりたい授業
 5. 家庭学習習慣の定着
 6. 補充学習
- ・基礎学力の充実
- 誰ひとり取り残さない教育

人権を尊重する主体の育成

- ・コミュニケーション力、課題解決力
- ・他者の考えや気持ちへの想像力・共感力・受容力（自分も他者も大切に）
- ・偏見や差別を見抜く判断力を養う。

徳

心の教育・道徳教育の充実

- ・生命尊重の心・豊かな感性を育てる
- ・道徳的生活実践力の育成

安全・安心な居場所づくり

- ・人権が尊重される関係性づくり、環境づくり
- ・集団づくり（学級・学年等）の推進
- ・学習・生活環境の整備（清掃の徹底）

体

健康な心身の育成

- ・基礎体力の向上と食育の推進
- ・個性の伸長と協調性（部活動充実）

意気高く 心美しく

信頼関係を基盤とした生徒指導の推進・発達支持的生徒指導の推進

- ・個々の内面に迫り、自らの行動をふりかえらせる指導（自己指導能力の育成）
- ・生徒指導と教育相談が一体となったチーム支援体制の構築
- ・カウンセリングマインドを大切にした指導
- ・学校行事・学年行事の充実

今年度の重点目標

- ・基礎学力の充実に向け、「ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業づくりの研究」や「少人数・習熟度別授業、TTによる教科指導の充実」～すべての生徒が「わかる」「できる」授業をめざして～
- ・不登校傾向、長欠傾向生徒への個別支援の充実（生徒の居場所づくり、学びの場の保障等）
- ・非認知能力（意欲・協調性・やりぬく力等）の育成推進